

私たち中部電力グループは、将来にわたりお客さま・社会からの信頼と期待に応え、選ばれ続けるため、さらなる変革を行っていく強い意志とその方向性を「中部電力グループ 経営ビジョン」として記し、2018年3月に公表いたしました。

このビジョンの中で掲げた将来の目指す姿の実現に向けて、足元からの具体的な取り組みを「経営課題への取り組み」としてまとめました。

電力・ガス小売全面自由化を契機とする競争の激化や、再生可能エネルギーの導入拡大等に伴う需給構造の変化、さらには、ESG※経営に対する重要性の高まり等、エネルギー事業を取り巻く環境は大きく変化しております。 ※ESG：環境・社会・ガバナンス

このような変化の只中でも、安全、安価で安定したエネルギーをお届けするという私たちの使命を果たすとともに、IoTやAI等の技術を活用した革新的なサービスや飛躍的な効率化を実現し、お客さまにとって価値あるサービスをご提供することにより、中部地域をはじめとする社会の発展に貢献してまいります。

これからも「変わらぬ使命の完遂」に努めると同時に、それを礎として、時代の変化を見据えた「新たな価値の創出」に挑戦し続けることで、期待を超えるサービスを、先駆けてお客さまにお届けする「一歩先を行く総合エネルギー企業グループ」の実現に向け、着実に歩を進めてまいります。

代表取締役社長
社長執行役員

勝野 哲



事業環境の変化と4つの重点的な取り組み

- 当社グループを取り巻く事業環境は、エネルギー市場の縮小、事業者間の競争激化等、ますます厳しく変化しています。一方、お客さまのニーズの多様化や、IoT、AI等の技術革新はこれまでにない多様なサービスをご提供するチャンスでもあります。
- このような変化の中で、当社グループの使命である安定供給を果たすとともに、新たな価値をご提供することにより社会の発展に貢献していくため、以下に示す4つの重点的な取り組みを推進していきます。

社会構造の変化

働き方改革の必要性の高まり

労働人口の減少 共働き世帯の増加

お客さまニーズの多様化

単身世帯の増加 高齢化の進行

蓄電池技術の進歩

EV用電池の普及

デジタル技術の進展

(ブロックチェーン等)

第4次産業革命 (IoT, AI, ビッグデータ)

テクノロジーの変化

エネルギー市場の縮小

人口減少 省エネ進展

事業者間の競争激化

電力・ガスの小売全面自由化

事業制度の変化

原子力規制の強化

福島第一事故

事業運営・体制の変化

送配電部門の法的分離
(2020~)

再生可能エネルギー導入拡大

低炭素社会の実現に対する関心の高まり
固定価格買取制度

温室効果ガス削減に向けた国際的枠組みの形成

気候変動 パリ協定の採択

環境意識の変化

「経営課題への取り組み」

(4つの重点的な取り組み)

- ① 浜岡原子力発電所における安全性のさらなる向上
- ② 新たな時代の安定供給
- ③ 成長に向けた事業基盤の強化と持続的な成長の実現
- ④ 環境変化に即応できる事業体制・経営基盤の構築

ESGの取り組みへの

関心の高まり

ESG投資の拡大

スマートグリッドの普及

スマートメーター・HEMS(通信・制御機能)

4つの重点的な取り組み（具体的なアクション）

1 浜岡原子力発電所における安全性のさらなる向上

ハードとソフトの両面で浜岡原子力発電所の安全性向上対策を進めるとともに、経営トップが原子力安全の向上に責任を持ち、ガバナンス、リスクマネジメント、リスクコミュニケーションの強化に継続的に取り組んでいきます。

- ✓ 安全性向上対策（事故を未然に防ぐ、発生に備える）
- ✓ より安全で信頼される発電所を目指して

2 新たな時代の安定供給

再生可能エネルギーの導入拡大等、需給構造が大きく変化する中、新技術を活用した出力予測・制御の高度化や、送電線の利用可能容量の拡大等、新たな時代の安定供給に向けた取り組みを進めていきます。

- ✓ 電力ネットワークの高度化
- ✓ コネクト&マネージ
- ✓ 電動車用電池のリユース

3 成長に向けた事業基盤の強化と持続的な成長の実現

【成長に向けた事業基盤の強化】

さらなる経営効率化に取り組むとともに、他事業者との協業による事業拡大やサービス提供に加え、成長分野の開拓・事業化を進め、成長に向けた事業基盤の強化に取り組んでいきます。

- ✓ 事業基盤強化に向けた経営効率化
- ✓ 既存火力事業等のJERAへの統合
- ✓ お客さまに選ばれ続けるエネルギーサービスの提供

【持続的な成長の実現】

新しい成長分野を収益の柱として育てあげ、JERAを含めた中部電力グループとしての持続的な成長を実現します。

- ✓ JERAにおけるバリューチェーン完成後の成長の加速
- ✓ 新しい成長分野の確立（新しいコミュニティの形の提供）

4 環境変化に即応できる事業体制・経営基盤の構築

持続的な成長に向け、外部リソースを積極的に活用していきます。環境経営の推進や地域社会とのコミュニケーション、コーポレートガバナンスをより一層充実させる等、ESG経営に取り組んでいきます。事業継続への取り組み（大規模地震対策）については、2020年度末に主要な設備対策を完了する予定です。

- ✓ 事業基盤の強化や新たなビジネス・サービスを創出するための体制の構築
- ✓ ESG経営の推進
- ✓ 事業継続への取り組み（大規模地震対策）

「目指す姿」実現に向けて

- 当社グループは、経営効率化の取り組みを進め、現在掲げている経営目標の達成を目指します。
- また厳しい事業環境の中でも、効率化の取り組みを深化させるとともに、将来の成長が見込める新しい分野を開拓し、事業化につなげる等、成長に向けた事業基盤の強化に取り組んでいきます。
- そして、新たな事業を収益の柱に育てあげ、中部電力グループとしての持続的な成長を実現します。

目標達成を実現

経営目標

2018年度までに連結経常利益 **1,500**億円以上

成長に向けた事業基盤の強化

2019～2022年度（見通し）

連結経常利益 **1,500**億円以上

持続的な成長の実現

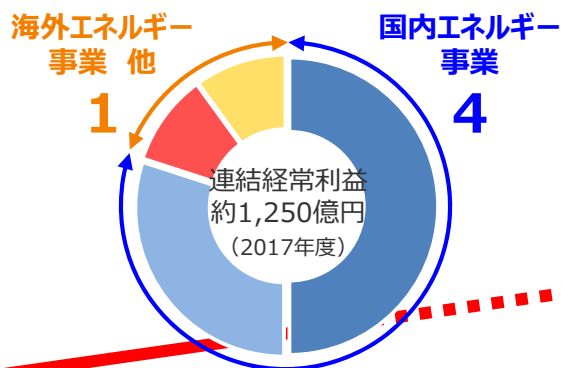
2020年代後半（目指す姿）

連結経常利益 **2,500**億円以上

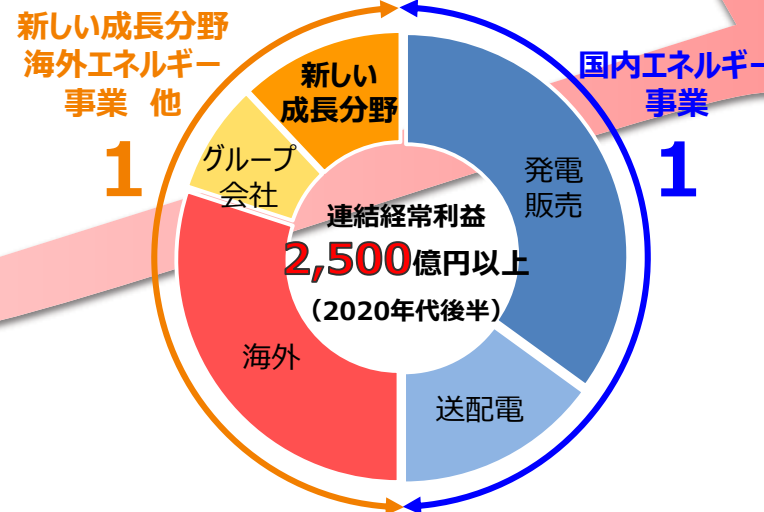
経営ビジョン 「目指す姿」

一歩先を行く
総合エネルギー
企業グループ

バランスの取れた事業ポートフォリオの構築



経営効率化の深化
エネルギー事業での収益拡大
新しい成長分野の開拓・事業化



経営効率化の徹底

2016 2018 2022 2030